

B - 1 単元計画

活用力向上のための単元計画 1年 国語

本単元では活用力向上のために、「古典作品に触れ、そこに表れるものの見方や感じ方を読み取り、自分の感じ方をまとめ、表現する」という場面に重点をおいた単元構成を試みた。本単元では6つの活用力向上のための学習活動のなかで、Iについて取り組む。

次	時	主な学習活動	観点	評価基準	本単元で特に取り組みたい活用力向上のための取り組み
	1	古文の部分を音読したりあらすじを読んだりして、竹取物語のあらましを知る。	①	古典作品に関心を持ち、現代語訳をもとにして大意をつかもうとしている。	
	2	古文の特徴を見つける。	④	古文の仮名遣いに注意している。	
	3	仮名遣いや言葉の句切りに注意して、繰り返し音読し、古典の文章に親しむ。	⑤	古文の語句や仮名遣いに注意しながら音読している。	
	4	話の展開を、自分が知っている「かぐや姫」の物語と比べてみる。	⑤	文章の内容に即して内容をとらえている。	「竹取物語」のどんなところがおもしろいかについてまとめ、発表する。(I) 学習について振り返る。
	5	・枕草子や清少納言についてあらましを知る。 ・表現に注意しながらくりかえし音読する。	①	・作品に関心を持ち、意欲的に読もうとしている。 ・古文の語句や仮名遣いに注意しながら音読している。	
	6	・現代語訳を参考にしながら、古文の意味を理解する。 ・古文のリズムを感じながら、繰り返し音読の練習をする。	④	作者の季節に対する感じ方やものの見方をおおまかにとらえている。	
	7	・「学習の課題」を確かめ、古文を読み味わう。 ・古文のリズムを感じながら、繰り返し朗読の練習をする。	⑤	筆者の表現の特徴をとらえている。	
	8	「私の枕草子」を書く。	④	清少納言の表現を参考に、季節感を文章にまとめている。	清少納言の表現を参考に自分が好きな季節について、自分の体験をもとに、「私の枕草子」を書く。(I)
	9	グループで「私の枕草子」を発表し、それぞれの作品を評価・批評し、全体で交流する。	④	それぞれが書いた「私の枕草子」を相互評価する交流を通して、季節に対する親しみを持とうとしている。	小グループで「私の枕草子」を発表し、清少納言のどの表現を参考にしたかを指摘し合うことによって、いろいろな見方・感じ方があることに気づき、考えを広げる。(III) 学習について振り返る。
	10	清少納言の季節感と現代の私たちの季節感の共通点、相違点を比べる。	①	季節感の共通点・相違点を考えようとしている。	
	11	「矛盾」の文章を繰り返し読み、漢文特有の言い回しに読み慣れる。	①	繰り返し音読し、漢文独特の言い回しやリズムに慣れようとしている。	
	12	「矛盾」の意味や、他の故事成語の意味や使い方を発表し合う。	④	故事成語の意味を理解している。	故事成語を調べ、四コママンガにまとめる。(I) 学習について振り返る。